

令和4（2022）年度 追手門学院大手前中・高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

グローバルマインドセットを鍛え世界に貢献できる人材を育成する。

2. 中期的目標

追手門学院の教育理念「独立自彊・社会有為」を体現する人材育成をすべての教育活動の根本とする。

そのために

- ① 生徒の第一志望進路実現100%を目指し、スーパー進学校へのさらなる前進
 - ② 新教育を実行する教育集団「チーム追手門学院大手前」の完成
 - ③ 志願者あふれる学校
 - ④ 安心安全な学校の再構築
 - ⑤ 働き方改革の更なる推進
- を掲げた。

3. 自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見

（1）自己評価アンケートの結果

○生徒

対面授業が復活し、多くの教育活動がコロナ以前に戻り、評価も昨年に比べて多くの項目で上昇した。その中で「学習習慣をつける取り組み」「学習意欲を高める取り組み」に対しての評価も自習室の活用促進の取り組みなどで、最近5年間では最も高い評価を得た。

○保護者

入学を勧める保護者が83%となり、3年連属で前年度を大きく上回った。項目別では「安全な学校生活」「アウトプット教育」「情報発信」などの満足度が高く、逆に「学習意欲を高める取り組み」「学習習慣が身につく指導」に関しては前年度よりは高くなったとはいえ依然満足度が低い。

○分析

前年度に引き続き、保護者への情報発信がより進み高い評価を受けつつあることは評価できる。しかし、生徒、保護者共に「学習」に関する依然として評価が低い。新教育実践の中でいかに生徒の学習意欲を高め、それを進路実現に結び付けることができるかが本校の課題である。

(2) 学校関係者評価委員会からの意見

- ・学校経営目標は学校の目指す方向がよくわかる。
- ・感染症対策を講じながらの学校の取り組みは高く評価する。
- ・ICT には当然マイナスの面もあるがプラスの面を伸ばして行ってほしい。
- ・今後も成功体験を増やす取り組みを進めてほしい。
- ・生徒達にとって本当に必要な力をつける教育を今後も、実践してほしい。
- ・人気校になってきたことがわかる。
- ・先生方が元気でないと教師力は上がらない。働き方改革をしっかりと進めてほしい。

4. 2022 年度の取り組み内容と評価

① 生徒の第一志望進路実現 100% を目指し、スーパー進学校へのさらなる前進

- ・国公立大学および難関私立大学への進学者増加
- ・生徒・保護者・教員のマインドセット
- ・海外大学進学に向けての取り組み強化

(評価)

第一志望進路実現を達成できた生徒は全体で 65% であった。その中で初志貫徹して難関国立大学に合格することができた生徒や学校推薦型選抜、総合推薦型選抜で難関大学に合格することができた生徒もいて、徐々にではあるが教育の成果が実を結びつつある。海外大学にも 3 名が進学した。

② 新教育を実行する教育集団「チーム追手門学院大手前」の完成

- ・3つの学び（個別型・協働型・プロジェクト型）＋リフレクションの徹底
- ・Global science 教育の徹底
- ・GA/GS コースの教育内容確立
- ・海外研修の改革（アジア・英語圏）
- ・探究活動の充実
- ・OM（モジュール）のさらなる充実

(評価)

今年度も生徒の満足度は80%を超え一定の成果を収めることができた。GA/GSコースの一期生の生徒達も3月のハワイ研修を無事終えた。第2回探究フェスタも開催でき、本校の学校コンピテンシーである「探究力」を6年間で育む活動今後もより一層充実させていきたい。

③ 志願者あふれる学校

- ・志願者数 中学 105 名 高校 235 名の定員確保
- ・GA/GS コースを柱とした広報活動の充実
- ・追手門学院小学校との連携強化
- ・内部進学者の定着

(評価)

中学校においては6年連続で入学定員を満たすことができ(118名入学)、追手門学院小学校からも15名の入学者があった。高等学校においては定員を大きく上回る288名の入学者があり、本校の教育が受け入れられつつあるといえる。GA/GSコースも2年連続定員を満たすことができた。

④ 安心安全な学校の再構築

- ・リスクマネジメントの強化
- ・教師力の底上げ

(評価)

南海トラフ大震災に備えて防災特別委員会を設置した。今後防災訓練の見直しなども行っていく予定である。コロナ禍における感染拡大の予防対策は学校再開後引き続き実施し、大きな感染拡大にはつながらなかった。

⑤ 働き方改革の更なる推進

- ・ICTの有効活用
- ・教職員との対話を通じて問題点を明確にし、迅速に行動
- ・働きやすい職場、笑顔の絶えない職場を作る。

(評価)

ICT機器の活用は進んでおり、校務の軽減にはつながってはいるが、新しい評価、新しいコースの導入などにより、教員の仕事は増大した。今後は、土曜日の活用も含めて、検討していきたい。

5. 2023 年度の取り組み

1, 生徒の第一志望進路実現 100%を目指し、スーパー進学校へのさらなる変身

- 難関国公立私立大学への志願者合格者の増加
- 生徒・保護者・教員のマインドセット
- 学校推薦型選抜 総合推薦型選抜の活用
- 海外大学進学への取り組み

2, 新教育を実行する教育集団「チーム追手門大手前」の完成

- 「探究力」の育成
- Global Science 教育の実践と徹底 「超える」と「つくる」
- 授業における 3 つの学び+リフレクションの徹底
- 探究活動の充実
- GA/GS コースの教育内容確立と改善
- 海外研修の改革（アジアを中心に）
- OM（追手門モジュール）の充実
- 生活指導の振り返り

3, 働き方改革のさらなる推進

- 土曜日の活用検討
- 働きやすい職場、心理的安全性の確保
- クラブ活動始動の見直し

4, 志願者あふれる学校

- 新教育および GA/GS コースを柱とした広報活動の強化
- 追手門学院小学校との連携強化
- 内部進学者の増加

5, 安心安全な学校の再構築

- 教師力の強化
- リスクマネジメントの強化